

市町村名 (市町村コード)	氷見市 (162051)
地域名 (地域内農業集落名)	久目地区 (池田集落、岩瀬集落、見内集落、坪池集落、触坂集落、土倉集落、赤毛集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月20日 (第3回)

久目地区では、70歳以上の個人農家が多く、後継者不足により年々耕作放棄地が増加している。中心経営体への農地集積を進めているが、条件の悪い圃場も多数存在するため、全ての圃場を守るのは困難である。また、集落営農組織の高齢化も進んでいるため、新たな農地の受け手の確保が必要である。耕作放棄地対策として、若い世代が参加している地域内の団体でかぼちゃづくりによる農地活用が行われるようになったが、畑作にむかない土壌のため生産性が問題である。

池田集落及び岩瀬集落を担う営農組織においては、組織内の世代交代を推進する。その他の集落については、地区内の中心経営体のほか、入作を希望する他集落の中心経営体の受入れを促進することにより対応していく。中山間地域の特性を活かした環境にやさしい農業の取組みで、令和5年度から毎年新規就農者が就農しているので規模拡大できるよう地域と連携して取り組む。農地の粗放的管理などで農地の保全に取り組む。

区域内の農用地等面積	3 9 6 h a
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	3 9 6 h a
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	h a

農業振興地域農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域

(1) 農用地の集積・集団化の方針
新たな担い手の確保とともに農地を集積していく。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地バンクへの貸付けを進め、担い手への農地の集積・集約化を推進する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
面積が小さく条件不利な農地が多くあるので、農業経営しやすい圃場について検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域の担い手の経営体制が維持できるよう地域内での後継者の育成に取り組む。また、地域外から、地域の特性を活かした農業経営を希望する新規就農者の受け入れを促進する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地区内の作業の効率化・省力化を進めるためにドローンなどによる防除作業をはじめ農作業委託の活用を図っていく。

①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出	○	⑤果樹等
⑥燃料・資源作物等	○	⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携	○	⑩その他

地域振興につながる農用地の活用を実証事業として取り組む。

多面的機能支払交付金や中山間地域直接支払交付金などを活用し、引き続き農地の保全に取り組む。

地域の特産である串柿用の柿栽培の後継者づくりを検討する。